

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (3 3)

団体名	(特非)みらプロ	代表者名	(職名) 理事長	(氏名) 為平浩一
事業名	うずらの遺産を活用した周辺地域活性化事業			

< 事業実施実績 >

年月日 <small>定例は「月1回」 「毎○曜日」等 で記入</small>	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
12月7日	兵庫県立北条高等学校	高校生：12名	うずらの遺産と海軍航空隊、川西航空機に関して、ガイドに関する内容のレクチャを実施
12月20日	鶉野飛行場跡	一般：92名	気球係留・搭乗イベントとして空中から飛行場を体感するイベントを開催、北条高生が搭乗前のお客様に説明を実施
12月20日	soraかさい	一般：118名	ミュージアムガイドとして、気球搭乗後soraかさいへお客様をご案内、soraかさいの展示と共にうずらの飛行場の歴史についての解説や高校生活動報告会を実施
12月20日	soraかさい	一般：38名	特別講演会として、soraかさいメイン展示である戦闘機「紫電改」に関する講演会を実施、ここでは航空機関係専門の戦史研究者を招聘
12月20日,21日	soraかさい	一般：217名	特別展示会として、実物航空機装備品と共に、精密艦船模型の展示、ならびに戦闘機「紫電改」の写真展を実施
12月21日	soraかさい・鶉野飛行場跡	一般：18名	戦跡ガイドツアーとして、鶉野飛行場跡の戦争遺跡を巡るツアーを実施、ガイドは北条高生が務めた。

< 効果と成果 >

本事業はうずらの遺産及び加西市地域活性化拠点施設soraかさいを活用した地域活性化イベントであり、主たる内容は気球イベントで新たな客層を呼び込みむものである。この集客をsoraかさいへ誘導し、当地についての説明を行うことでうずらの飛行場に対する理解をより深め、新たな客層への訴求に繋げる礎とすることができた。

気球イベントの運営やsoraかさいの遺書朗読、更には戦跡ツアーでのガイドを高校生と共にOBの大学生などに担ってもらうことで、本事業へ地元の若者たちが積極的に関わり、自主的に行動してもらうことができた。更に高校生たちからsoraかさい内の展示についてガイドを行いたいという要望があり、今回招へいた航空戦史専門家などからのレクチャを行い、soraかさいメイン展示である実物大航空模型に対する知識も深めてもらうことができた。

弊NPOの当地普及啓発の戦略として、初心者向け及び玄人向けの硬軟取混ぜたイベント開催を行っており、今回の講演会などでは、玄人向けの内容に加え、高校生の要望に即した形での対応も合わせて行ったことで探究活動の発展への寄与にも繋げることができた。

< 今後の展望 >

- ・北条高校との協力体制を今後も推進し、戦跡に係る活動に加え、まちづくりや人づくりに関する探究活動に対して協力を進め、持続可能な体制づくりに尽力したい。
- ・気球関連で新たな市内関連団体との関係性が構築でき、今後のこの関係性を発展させていきたい。
- ・新たな層への訴求を目指して子供や家族連れをターゲットとしたエンターテインメント性の高い取り組みを今後も関係団体との協力の上、推進していきたい。
- ・広報に関して、現状SNSやチラシ配布程度しかできていないことから、集客への効果が低かった。周知についての新聞広告などメディア活用についての予算取りなども考える必要がある。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	500,000
事業収入等	130,485
合 計	630,485

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	人件費	158,000	150,000
	講師謝礼・旅費	177,400	170,000
	委託費	110,990	50,000
	小 計	446,390	370,000
	間接経費 (一般管理費)	184,095	130,000
	合 計	630,485	500,000